

番号	55	橋梁架設記念		
所在地	伊万里市二里町中里乙　MR金武駅横			
災害別	昭和２３年（１９４８）水害			
目的別	記念碑	建立年	昭和２４年９月	
特記事項	碑文一部判読困難			



昭和23年9月11日の水害で金武橋が流失、この碑は新たな橋が昭和24年2月竣工したのを記念し建てられたもの。碑文は下部が台座に埋もれ、一部は摩耗し判読不能の箇所もあるが、橋の歴史や23年水害での被害状況などが記されている。ただ、敷地内に「八菩薩」の碑(別項)や水天宮(別項)などが集められていることから、もともとこの場所に建てられていたのかは不明。なお、この時の橋は木造で再建されたが、昭和37年7月8日の水害で流失、現在の橋は、昭和57年に架けられたもの。

(右側面)「本橋架設は區民年来の念願にして昔の飛石を以て兩岸を縁びしも昭和十一年當時徳久禎次區長田中・・・外部落民相謀り高さ三尺余のコンクリート橋を架け交通の便を計り昭和十三年より道路を改修して耕作の便・・・をなす昭和二十三年九月十一日夜半大豪雨に依り橋は流失し堤防は破潰さる當部落流失家屋は八戸流者十一名内八名死・・・浸水家屋三十五戸耕地流失埋没五町歩其他慘憺たる有様にて落口如何乎然ども村當局並に村内外の御援・・・部落民一致協力に依り口橋を架け遂に昭和二十四年二月念願叶ひ本橋竣工し吉晨をとし渡橋を挙・・・昭和二十四年九月吉日記之」(原文はカタカナ表記)

(左側面) 昭和二十四年橋 総工費、村長他氏名等(略)



現在の金武橋（昭和 57 年 12 月竣工）



有田川（橋より上流方向）



国土地理院電子国土 Web